

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月11日

上場会社名 細谷火工株式会社 上場取引所

コード番号 4274 URL http://www.hosoya-pyro.co.jp

表 者 (役職名) 代表取締役社長 代

(氏名) 細谷 穰志

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 浜中 綱雄

(TEL) 042-558-5111

四半期報告書提出予定日

平成25年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日~平成25年9月30日)

_(1)経営成績(累計)______

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上る	高	営業利	益	経常利	益	四半期純	i利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	717	35. 7	135	17. 4	134	20.8	82	19. 6
25年3月期第2四半期	528	△15.1	115	24. 2	111	26. 6	68	51.8
	1株当分		潜在株式記					

	1株当たり 四半期純利益	相任株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	20. 48	_
25年3月期第2四半期	17. 13	_

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	2, 972	1, 846	62. 1
25年3月期	2, 908	1, 767	60. 8

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,846百万円

25年3月期 1,767百万円

2. 配当の状況

			年間配当金		
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	_		_	5. 00	5. 00
26年3月期	_				
26年3月期(予想)			_	5. 00	5. 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	5	営業利	益	経常利	益	当期純和	刂益	1株当たり 当期純利益
通期	百万円 1,366~ 1,669	% —	百万円 138~ 257	% —	百万円 131~ 244	% —	百万円 76~ 141	% —	円 銭 19.04~ 35.35
	1,009			<u> </u>			141		<u>ეთ. ამ</u>

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	4, 032, 000株	25年3月期	4, 032, 000株
26年3月期2Q	24, 421株	25年3月期	24, 261株
26年3月期2Q	4, 007, 659株	25年3月期2Q	4, 008, 713株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績 等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報
(1)経営成績に関する説明
(2) 財政状態に関する説明
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明
2.四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表
(2) 四半期損益計算書
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
(セグメント情報等)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の打ち出した経済政策と日銀の金融緩和により円高修正・株高などで着実に景況感の改善が見られています。しかし、中国や新興国の景気減速懸念や欧州経済の低迷など、海外景気が不透明な状況となっており、一部設備投資に穏やかな持ち直し感が出ているものの、いまだに力強さに欠ける状況となっています。

火工品業界においては、限られた市場の中で依然としてコスト高の状態が続き、需要獲得のために厳 しい競争が展開されているところです。

このような環境の下、当第2四半期累計期間の売上高は、主力の火工品事業において陸上自衛隊向けの訓練用火工品売上が前年同期より増加したことによって増収となりました。また、一部民間向け火工品の売上も増加となった結果、前年同期に比べ188百万円の増収となり、ほぼ期初の計画通りとなりました。利益面においても増収に伴う増益となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高717百万円(前年同期比35.7%増)、営業利益135百万円(前年同期比17.4%増)、経常利益134百万円(前年同期比20.8%増)、四半期純利益82百万円(前年同期比19.6%増)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

① 火工品事業

当第2四半期累計期間の火工品事業は、前年同期には受注のなかった陸上自衛隊向けの火工品や、一部民間向け火工品の受注数量増加により、売上高は642百万円(前年同期比37.0%増)となりました。

セグメント利益は、104百万円と前年同期と比べ10百万円(11.0%増)増加しました。

② 賃貸事業

当第2四半期累計期間の賃貸事業は、前年同期と比べ賃貸先の増加により74百万円(前年同期比25.5%増)となりました。

セグメント利益は45百万円と前年同期と比べ9百万円(27.1%増)増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間の財政状態につきましては、総資産2,972百万円(前事業年度末比64百万円増)、負債の部合計1,126百万円(前事業年度末比14百万円減)、純資産の部合計は1,846百万円(前事業年度末比78百万円増)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、前回発表(平成25年8月8日付「平成26年3月期第1四半期決算短信[日本基準] (非連結)」の業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表 (1) 四半期貸借対照表

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	599, 562	625, 295
受取手形及び売掛金	313, 040	210, 257
商品及び製品	28, 468	24, 379
仕掛品	113, 764	234, 725
原材料及び貯蔵品	167, 988	151, 941
その他	32, 594	41, 347
流動資産合計	1, 255, 419	1, 287, 947
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	340, 933	335, 691
土地	1, 023, 935	1, 039, 782
その他(純額)	133, 393	136, 174
有形固定資産合計	1, 498, 263	1, 511, 649
無形固定資産	46, 240	46, 205
投資その他の資産	108, 489	126, 817
固定資産合計	1, 652, 993	1, 684, 671
資産合計	2, 908, 413	2, 972, 619
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	62, 792	41, 112
短期借入金	509, 968	557, 320
未払法人税等	54, 701	55, 441
賞与引当金	37, 485	38, 206
その他	142, 850	100, 144
流動負債合計	807, 798	792, 225
固定負債		
長期借入金	63, 374	72, 678
退職給付引当金	69, 890	71, 435
役員退職慰労引当金	35, 229	37, 976
製品保証引当金	3, 942	4, 443
資産除去債務	8, 910	8, 910
その他	151, 324	138, 671
固定負債合計	332, 671	334, 115
負債合計	1, 140, 469	1, 126, 340

		(十 元・111)
	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	201, 600	201, 600
資本剰余金	18, 121	18, 121
利益剰余金	1, 545, 640	1, 607, 697
自己株式	△11, 077	△11, 131
株主資本合計	1, 754, 284	1, 816, 287
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,658	29, 992
評価・換算差額等合計	13, 658	29, 992
純資産合計	1, 767, 943	1, 846, 279
負債純資産合計	2, 908, 413	2, 972, 619

(2)四半期損益計算書 第2四半期累計期間

/)) / LL		_	-		1
(単位	•	=	-	щ	١)
(1 1	· /

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	528, 836	717, 590
売上原価	305, 235	456, 817
売上総利益	223, 601	260, 772
販売費及び一般管理費	108, 476	125, 579
営業利益	115, 124	135, 193
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	1, 035	1, 044
雑収入	1, 044	2, 708
営業外収益合計	2, 080	3, 754
営業外費用		
支払利息	3, 615	2, 632
休止固定資産関係費用	2, 034	1, 949
雑損失	284	1
営業外費用合計	5, 934	4, 583
経常利益	111, 270	134, 364
特別利益		
固定資産売却益	29	<u> </u>
特別利益合計	29	_
特別損失		
固定資産除却損	111	320
特別損失合計	111	320
税引前四半期純利益	111, 189	134, 043
法人税、住民税及び事業税	32, 690	53, 871
法人税等調整額	9,841	△1, 923
法人税等合計	42, 532	51, 947
四半期純利益	68, 656	82, 095

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

		(中位・111)
	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	111, 189	134, 043
減価償却費	30, 245	30, 663
受取利息及び受取配当金	△1, 036	$\triangle 1,045$
支払利息	3, 615	2, 632
売上債権の増減額 (△は増加)	184, 838	99, 716
たな卸資産の増減額(△は増加)	△235, 753	△100, 825
仕入債務の増減額(△は減少)	21, 901	△21, 679
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9, 064	721
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3, 134	2, 747
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△9, 464	501
未払消費税等の増減額(△は減少)	△14, 243	$\triangle 6,458$
その他	△27, 808	△36, 568
小計	57, 553	104, 447
利息及び配当金の受取額	1,036	1, 045
利息の支払額	△2, 829	$\triangle 2$, 434
法人税等の支払額	△54, 627	△53, 260
営業活動によるキャッシュ・フロー	1, 131	49, 797
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△58, 590	$\triangle 43, 160$
有形固定資産の除却による支出	△53	_
有形固定資産の売却による収入	30	-
無形固定資産の取得による支出	_	△933
投資有価証券の取得による支出	△359	△370
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58, 973	△44, 464
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	450,000	500,000
短期借入金の返済による支出	△400, 000	$\triangle 450,000$
長期借入れによる収入	50,000	70, 000
長期借入金の返済による支出	$\triangle 21,664$	△63, 344
リース債務の返済による支出	△968	△648
自己株式の取得による支出	_	△54
配当金の支払額	△19, 836	△20, 088
建設協力金の返還による支出	△15, 465	△15, 465
財務活動によるキャッシュ・フロー	42, 066	20, 399
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△15, 775	25, 733
現金及び現金同等物の期首残高	432, 057	599, 562
現金及び現金同等物の四半期末残高	416, 281	625, 295
	<u></u>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

> (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

- I 前第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	火工品事業	賃貸事業	計	一百百
売上高	469, 138	59, 697	528, 836	528, 836
セグメント利益	93, 771	36, 008	129, 779	129, 779

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	129, 779
全社費用(注)	$\triangle 14,655$
四半期損益計算書の営業利益	115, 124

- (注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。
- Ⅱ 当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	火工品事業	賃貸事業	計	「口車」
売上高	642, 659	74, 930	717, 590	717, 590
セグメント利益	104, 069	45, 783	149, 853	149, 853

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント計	149, 853
全社費用(注)	△14, 659
四半期損益計算書の営業利益	135, 193

- (注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。